

# プリンシパル<sup>®</sup>がグローバル資産運用部門と国際（米国外）年金事業の統合を発表 グローバルおよびローカルな投資能力の幅と範囲を拡大へ

2023年3月1日

プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社

本書は、プリンシパル・ファイナンシャル・グループ（本社：米国アイオワ州）が発表したプレスリリースの抄訳です。

プリンシパル・ファイナンシャル・グループ（Principal Financial Group<sup>®</sup>（ナスダック・ティッカー：PFG））は、本日、グローバル資産運用部門と国際年金事業をプリンシパル・アセット・マネジメント（Principal Asset Management<sup>SM</sup>）に統合し、リーダーシップ、運用能力、お客様対応チームを一体化することを発表しました。統合された事業により、Principal<sup>®</sup>は世界80以上の市場において、グローバルおよびローカルな投資能力とお客様サポートを効果的に提供し、お客様と株主により大きな利益をもたらすことができるようになります。

プリンシパル・アセット・マネジメントの社長であるパトリック・ホルター（Patrick Halter）は、「資産運用ビジネスはプリンシパルの成長ドライバーであり、適切な戦略、体制、チームによって、お客様により大きな差別化と価値を提供できると確信しています」としたうえで、次のように述べています。「当社のお客様は、当社の広範なグローバルの投資能力とローカル市場の専門知識を組み合わせ、お客様の長期的な投資と退職のニーズを継続的にサポートすることを期待しています。この統合により、プリンシパルはこれらの能力を基に、統合ビジネスモデルの価値を最大化しながら、お客様にサービスを提供できるようになります。」

プリンシパルのグローバル事業は、30年以上にわたり、機関投資家、退職者、リテール、富裕層のお客様に対して、投資目標を達成するための広範な資産運用能力を提供してきました。その中で、資産運用部門と国際年金事業の2つの部門は機敏に連携し、地域市場の投資家のニーズを満たすグローバル・ソリューションを提供し、グローバル投資家のポートフォリオに地域・地方の商品を拡張してきました。さらに最近では、より高い価値と効率を生み出すために、グローバル、リージョナル、ローカル市場の間で、リサーチ、リスク管理、商品戦略の融合を始めています。

本日の発表は、このパートナーシップを正式なものとし、リーダーシップ、運用、市場開拓の能力を統合した単一のビジネスユニットを設立するものです。

## グローバルで経験豊富なリーダーシップチーム体制

プリンシパル・アセット・マネジメントは、リーダーシップと組織体制を統合し、グローバルなお客様のニーズに対応した能力と機能の整合性を高めます。パトリック・ホルターは、プリンシパル・アセット・マネジメントの社長として、プリンシパル・ファイナンシャル・グループのダン・ハウストン（Dan Houston）会長兼社長兼 CEO の直属となります。

ホルターのリーダーシップチームは以下の通りです。

- カマル・バティア (Kamal Bhatia) : グローバル投資部門の責任者であり、プリンシパル 社の一般勘定と投資子会社を含む、強化されたグローバルな投資組織を指揮します。また、引き続きプリンシパル・ファンズの社長兼会長を務めます。なお、これまで、バティアは資産運用部門の最高執行責任者を務めていました。
- トーマス・チョン (Thomas Cheong) : アジア地域担当の責任者であり、アジア地域の合併事業とプリンシパル・アジア年金事業の成長を継続させながら、アジア太平洋地域と中東のお客様対応機能を統括します。以前は、プリンシパル・インターナショナルでこの地域のリーダー的な役割を担っていました。
- ロベルト・ウォーカー (Roberto Walker) : ラテンアメリカ地域担当の責任者として、同地域のお客様対応機能を主導します。地域ジョイントベンチャーやプリンシパル・ラテンアメリカの年金事業を通じて、引き続き成長を推進する一方、同地域のお客様対応機能を統括します。ウォーカーはこれまで、プリンシパル・インターナショナルでこの地域のリーダー的な役割を担っていました。
- タイム・ヒル (Tim Hill) : お客様対応機能とサポート機能を統合する形で誕生する米国および欧州のお客様グループ責任者に就任します。ヒルは、これまで、米国でアセットマネジメントの営業部門を統括していました。
- エレン・シャムウェイ (Ellen Shumway) : グローバル・プロダクト & マーケティング責任者として、当社のプロダクトとマーケティングのグローバルな整合性を主導します。シャムウェイは、投資部門、販売部門、ブランド・リーダーシップ・チームと密接に連携し、当社のプロダクトおよびマーケティング戦略のグローバルな調整を主導します。なお、これまでは資産運用のプロダクト、マーケティング、戦略を統括してきました。

### **運用機能の強化**

プリンシパルは、グローバルおよびローカルな投資能力を単一の投資組織のもとに集約します。

具体的には、プライベート・マーケット、パブリック・マーケット、マルチ・アセットの、大別して 3 部門の運用組織のもとで、グローバルおよびローカルな資産運用機能を統合します。これにより、新組織では専門性の高い投資チームを一人のリーダーの下に集約し、各チームによるより緊密な連携や互いの専門知識とリソースを活用することで、お客様により多くを提供できるようになります。

### **プライベート・マーケット**

プライベート・マーケットはグローバル・ヘッドとしてトッド・エバレット(Todd Everett)が担当します。当部門にはコーポレート・クレジット、不動産クレジット、不動産エクイティが含まれます。エバレットは、これまでグローバル不動産部門を率いていました。

### **パブリック・マーケット**

パブリック・マーケット部門はデビッド・ブレイク(David Blake)が担当します。当部門にはグローバル株式、グローバル債券およびトレーディング部門が含まれます。ブレイクは、これまではグローバル債券チームを担当していました。

### **マルチ・アセット**

引き続き、マルチ・アセット投資のグローバル・ヘッドであるトッド・ジャブロンスキー(Todd Jablonski)が担当します。当部門には、アセット・アロケーション、マルチ・アセット運用、クオンツやインデックス運用、および運用・市場環境リサーチが含まれます。

マルチ・アセット投資やライアビリティ・ドリブン・インベストメント(LDI)やアウトソーシング・チーフ・インベストメント・オフィサー(OCIO)などのソリューションの提供を今後とも拡大していく計画です。また、リタイアメント、保険、富裕層向けのソリューションも拡充していきます。

プリンシパルでは、今後もグローバルおよび現地の投資チームと連携し、規制に則って現地のチームを統合していく予定です。<sup>i</sup>

### **お客様の身近な存在に**

グローバルな資産運用は、プリンシパルにとって引き続き成長の原動力となっています。

多様で専門的な運用能力を求めるお客様が増える中、プリンシパルは、より深く市場に入り込み、現地の洞察やニーズとグローバルな商品ラインアップを組み合わせることが可能になります。

アジア・中東、米国・欧州、ラテンアメリカの3地域に分けて組織を統合し、さまざまなお客様層に対応する体制を構築します。

各国の市場においては、引き続きカントリー・ヘッド（各国現地法人のCEO）を通じて強力なリーダーシップを発揮し、お客様、規制当局、合併事業パートナー、その他の重要なステークホルダーとの重要な関係を維持・構築するために、今回の組織統合で、その他の機能強化もあわせて実施します。

この組織統合は、2023年第1四半期以降の当社の財務報告に反映される予定です。詳細については3月2日(木)に開催される2023年見通しに関する電話会議で発表される予定です。

## **将来見通しに関する注意事項**

本ニュースリリースには、1995年米国私募証券訴訟改革法の定義するところの「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。本ニュースリリースに記載されている「確信」、「期待」、「予想」、「見込み」、「予測」、「予算」、「継続」、「可能性」、「意図」、「可能性」、「計画」、「潜在的な」、「予想」、「追求」、「模索」、「はず」、「重要」、「予定」、「だろう」、「目的」、「予測」、「目標」、「ガイダンス」、「見通し」、「努力」、「戦略」、およびこれらに類似する表現は、一般に、将来予想に関する記述として認識されます。これらの記述は、当該記述の作成日現在において判断したものです。

将来予想に関する記述は、将来の展開およびそれらが当社に及ぼす潜在的影響に関する経営陣の現在の期待および信条に基づいています。このような将来予想に関する記述は、将来の業績を保証するものではありません。将来の事象およびそれが当社に及ぼす影響 また、実際の結果は、これらの将来予想に関する記述と大きく異なる場合があります。

これらのリスクや不確実性には、2020年12月31日に終了した事業年度に係る当社の Form 10-K 年次報告書中の項目 1A「リスク要因」および当社が米国証券取引委員会に提出するその他書類に記載されたリスク要因が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

当社は、新しい情報、将来の出来事またはその他の理由により、いかなる将来予想に関する記述も更新または修正する意向や義務を負うものではありません。

ただし、法律で義務付けられている場合を除きます。

## **プリンシパル・ファイナンシャル・グループ<sup>®</sup>について**

プリンシパル・ファイナンシャル・グループ (Nasdaq: PFG) は、人々や企業の富と幸福の向上に貢献することに情熱を注いでいる、従業員数 19,000 人<sup>(\*)1</sup> のグローバルな金融企業です。創業以来 140 年以上の歴史を持ち、6,200 万人以上のお客様<sup>(\*)1</sup> の資産運用、資産管理、運用、リタイアメントをサポートしています。

また、事業を展開する地域社会をサポートし、多様な人材を育成することにも取り組んでいます。プリンシパルは、「America's 100 Most Sustainable Companies (最も持続可能な 100 社)」<sup>(\*)2</sup> の 1 社として評価されています。

また、「ブルームバーグ男女平等指数」のメンバーであり、「Best Places to Work in Money Management (マネー・マネジメントにおける最高の職場)」<sup>(\*)3</sup> にも選ばれています。

プリンシパルについて、またより良い未来を築くための当社の取り組みについては、[principal.com](http://principal.com) をご覧ください。

\*1 2022 年 12 月 31 日現在

\*2 バロンズ紙、2022 年

\*3 ペンション & インベストメンツ、2022 年

プリンシパル・グローバル・インベスターズは、グローバルな資産運用をリードしています。参照元企業は Principal Financial Group<sup>®</sup> (Des Moines, Iowa, 50392) のメンバーです。

Principal、Principal のシンボルデザイン、および Principal Financial Group は、Principal Financial Group のメンバーである Principal Financial Services, Inc.の商標およびサービスマークです。

i 本書に記載されたグローバルとローカルの投資能力および組織構造の統合は、その国の法令に定められた適用制限に従うものであり、またそれに適合するものでなければなりません。

#### **プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社**

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー11 階 TEL:03-3519-7880 (代)

代表者：代表取締役社長 板垣 均

金融商品取引業者登録番号：関東財務局（金商）第 462 号

加入協会：

一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

<https://www.principalglobal.jp/>